

新寝屋川八景を訪ねる散策コース

讃良川コース
市南部地域を川に沿って巡る
讃良川・寝屋川を辿って萱島駅のくすのきへ



萱島駅のくすのき

裏面地図★印の場所には、写真のようなルートサイン（説明や地図板のついた石像）があります。八景を巡って、様々な表情の鉢かづき姫を、探してみてください。

★スタート★



★ゴール★

道順や各所の詳細については寝屋川市のホームページをご覧ください。
(右側のQRコードからアクセスできます)

※QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。



1 埋蔵文化財資料館 まいぞうぶんかざいしりょうかん

昭和56年、JR東寝屋川駅(現寝屋川公園駅)前の寝屋川東ファミリータウン中1番館の一角に開設された北河内地域最初の文化財展示施設です。市内の遺跡から見つかった土器・石器・木製品等の考古資料をテーマごとに展示しています。常設で展示している高宮八丁遺跡出土貯蔵穴(弥生時代)と長保寺遺跡出土古代船(古墳時代)は、**市指定文化財**です。



2 正縁寺 しょうえんじ

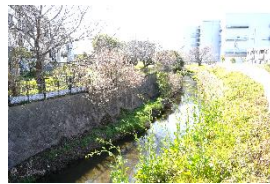
浄土宗知恩院の末寺で、元は守口市佐太の来迎寺の末寺でした。境内には石仏・板碑など様々な石造物が遺されています。特に「南無阿弥陀仏」と刻まれた2基の六字名号板碑にはそれぞれ永禄2年(1559)・天正18年(1590)、十三仏板碑には天正14年(1586)の年号が刻まれています。いずれも、中世に製作されたことがわかります。※石造物の拝観を希望される人は寺院の庫裏に声をかけてください。



十三仏板碑

3 讃良川遺跡 さらがわいせき

平成2～3年の河川改修に伴って行われた発掘調査で見つかった遺跡です。縄文時代中期(約5000年前)のムラの跡が見つかり、大量の土器や石器をはじめとする様々な遺物が出土しました。木の実を貯蔵した大きな穴は、その役割を終えた後、ゴミ捨て場として再利用されたようで、セタシジミやマガキの貝殻・シカ・イノシシなどの骨が捨てられていました。また、出土した土製の耳飾りには表面に文様を持つものや赤く彩られているものなどバラエティに富み、**市指定文化財**に指定されています。



土製耳飾り(耳栓)

4 寝屋川村役場跡 ねやがわむらやくばあと

寝屋川村は、町村制が施行された明治22年(1889)4月1日、木田村・萱島流作新田・堀溝村・河北村の4か村が合併して成立しました。村役場は堀溝におかれ、当時の人口は2320人と記録されています。(昭和41年『寝屋川市誌』)村名の由来は、合併した4か村のいずれにも流れている「寝屋川」の名前をとって命名されたと言われています。



5 南寝屋川公園 みなみねやがわこうえん

昭和51年にオープンした面積約47000平方メートルの公園です。野球場やテニスコート・相撲場などがあります。公園内には、昭和59年まで市民の手でサクラなどの7種類939本の植樹が行われ、通称「市民の森」として、市民の憩いとやすらぎの場となっています。



※掲載内容は、2024年12月時点のものです。

6 大念寺 だいにんじ

『寝屋川市誌』によると正和3年(1314)に創建された融通念仏宗の寺院です。境内にある2基の十三仏板碑は、舟形の石の表面に13の仏像が彫られたものです。大きい方には慶長16年(1611)、小さい方には慶長14年(1609)の年号が刻まれており、江戸時代の初めに造られたことがわかります。鐘楼に吊るされた梵鐘は、高さ146.5cmで、市内最大です。刻まれている銘文によると、寛文10年(1670)に泉南郡田尻町にある浄光寺の鐘として作られて、昭和3年にこの大念寺に寄進されたことがわかります。また本堂内に安置されている十一面観音菩薩立像は、像高64.5cmの一本造で平安時代の制作と推定されます。(通常非公開)いずれも**市指定文化財**です。



十三仏板碑



梵鐘

7 鶯関神社 おうかんじんじや

鶯関神社の前を東西に通っている道は、奈良時代の高僧行基が開いた「行基みち」とされる道です。清滝を越え奈良(大和)街道あるいは守口街道と呼ばれました。神社名になっている「鶯の関」は、中世の頃にこの付近に設置されていた関所の名前にちなんだものとされています。



8 河北大神宮 かわきただいじんぐう

河北は、元「河内屋北新田」とよばれ、江戸時代に行われた大和川付替工事の後に、河内平野に残っていた深野池の北側を河内屋源七が開発、宝永5年(1708)に完成させた新田です。この河北大神宮は、この地の産土神として天照大神を祭神として建てられました。この場所は、新田開発に従事した人々の、朝夕の集散場所であったといわれています。



9 からくる親水公園 からくるしんすいこうえん

木田地区は、水害から村を守るために、周囲に「囲い堤防」を設けていました。そのため、村の水田に必要な水(用水)を取り入れたたり、不要な水(悪水)を排水するために、堤防の一部に水の出入口となる水門(樋)が設置されました。この地にあった「からくり樋」は、村内の不要な水を寝屋川に排水するために設置されていました。同時にここは船の通路としても利用され、パナマ運河などと同じ閘門(こうもん)式で水位が調節されていました。



10 萱島駅のくすのき

新寝屋川八景

萱島神社のクスノキは京阪電車の萱島駅の高架化に伴い駅構内に取り込まれ、プラットホームを貫く形で保存されています。高さ約20m・幹回りは約7mを測り、樹齢約700年と推定されています。近代的な建築物と「古木」とが融合したデザインはとてもユニークで、大阪府の「大阪みどりの百選」にも選ばれています。また、**新寝屋川八景**にも選ばれています。



新寝屋川八景を巡る散策コース 讃良川コース

市内南部地域を讃良川・寝屋川に沿って巡ります。
のどかな田園風景を楽しんだり、立派な梵鐘のある寺院や古い神社を通ります。ゴールでは萱島駅の大楠が悠然と出迎えてくれることでしょう。

■距離：約9 km ■所要時間：約3時間

- スタート：JR寝屋川公園駅(東口) 0.1km / 2分 ※距離・所要時間は目安です
- 1 埋蔵文化財資料館 2km / 34分
- 2 正縁寺 0.8km / 14分
- 3 讃良川遺跡 1.3km / 22分
- 4 寝屋川村役場跡 0.9km / 15分
- 5 南寝屋川公園 1km / 17分 ★休憩 ベンチ・トイレあり
- 6 大念寺 0.3km / 5分
- 7 鶯関神社 0.8km / 14分
- 8 河北大神宮 1.5km / 25分
- 9 からくる親水公園 1km / 17分 ★休憩 ベンチあり
- 10 萱島駅のくすのき 新寝屋川八景
- ゴール：京阪萱島駅(東口)

